

令和元年9月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

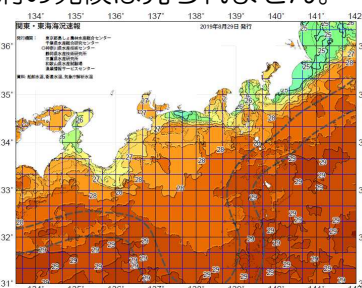
伊豆東岸定置網2019年下半年期漁海況予測

表 伊豆東岸定置網における2019年下半年期の漁海況

海況	黒潮は期間を通してA型で推移する。沿岸水温は「平年並み」～「高め」で推移する。
マアジ	来遊量は前年を上回る。体長16～18cm主体。
マサバ	来遊量はゴマサバに混じる程度。体長30cm前後主体。
ゴマサバ	来遊量は前年並み。体長30cm以上主体。
マイワシ	来遊量は前年並み。体長10～15cm主体。
カタクチイワシ	来遊量は前年並み。
ブリ	漁獲は前年を上回る。わかし・いなだ銘柄主体。

令和元年下半年期（7～12月）の漁海況を神奈川県水産技術センターと共同で予測しました。

近年、伊豆東岸定置網における水揚量は減少傾向にあり、いずれの魚種（左表）も好調な漁獲は期待できない状況です。ただし、上半期のじんだ（マアジ小型当歳魚）、わかし（ブリ当歳魚）漁獲量が前年を上回ったため、下半期のマアジ、ブリ漁獲量は前年を上回ると予測しました。黒潮は大蛇行流路が継続する見通しであり、解消の兆候は見られません。大蛇行流路が継続すると、暖水波及による海水温の上昇、それに伴う「磯焼け」の発生や来遊魚種の変化、急潮等による定置網損傷の発生等が考えられますので注意が必要です。



2019/8/29の黒潮流路→

稲取で磯の体験学習

8月3日に伊豆漁協稲取支所主催の磯の体験学習が志津摩海岸で行われ、東伊豆町内の小中学生30人が参加しました。これは磯遊びを通じて海や漁の魅力をお子たちに伝えるとともに地域の伝統文化の継承や漁業後継者育成を目的としたもので、東伊豆町、教育委員会の協力のもと3年ぶりの開催となりました。子供たちは4～5人のグループに分かれて、漁業者から素もぐりの指導を受け、サザエやシッタカなどを採っていました。



↑素潜り体験をする子供たち

伊豆分場新施設内覧会の開催

発注業者による建替工事が8月に全て終了した伊豆分場新施設の開所式を9月13日金曜日、11：00～11：20に執り行います。



↑タカアシガニ剥製標本(展示室)

会場は新庁舎2階会議室ですが、部屋の広さの都合で一部の漁業関係者、地元区民のみの招待となったことをここでお詫び申し上げます。

同日13：00～17：00に内覧会を開催します。飼育施設や実験室、展示室を大勢の皆様にご覧いただければ幸いです。こちらは予約無用です。

9月の予定 ●9月4日に静岡県漁業高等学園の生徒が伊豆漁協、現場を見学します。●キンメダイ種苗生産研究のために親魚捕獲、船上授精を行います。●イセエビ漁が9月15日に解禁となります。今漁期のイセエビ漁況予測を発表します。●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静清地区への試験流通を実施します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

自由に見学できる展示室が9月13日よりオープンします。皆様のお越しをお待ちしています。